

年頭の御挨拶

辰巳会会長 鈴木治雄

新年あけましておめでとうございます。

会員諸兄におかれましても幸多き新春を迎えた事とお慶び申し上げます。

さて、経済界に目を転じますと日本の経済は昨年来政府の政策的介入により円高傾向が定着しつつある様に思

えますが同時に一部の輸出産業はかなりの打撃を受けている様ですし、また産業界全体としても不況ムードが広がりつつある様な感があります。このことは円高リ貿易黒字の解消ではすまない重要な問題を提起している様に思えます。

この様に難しい年とは思いますが会員の皆様方も常に「歴史から学ぶ」心を持ち「歴史を創る」チャレンジ精神で健康には呉々も留意され頑張って戴きたいと思います。

なお今年も全国大会をはじめ各例会を開催いたしますので会員の皆様方は奮って御参加戴きたいと思います。

最後に辰巳会も本年で創立二十六周年を迎えますが、過ぎし二十五年の長い歴史の中で物故された会員の方々の御冥福をお祈り申し上げます。

年頭に際し本会の益々の発展と皆様の御健勝を祝福し挨拶といたします。

昭和六十一年元旦



大幡幹事長遺影

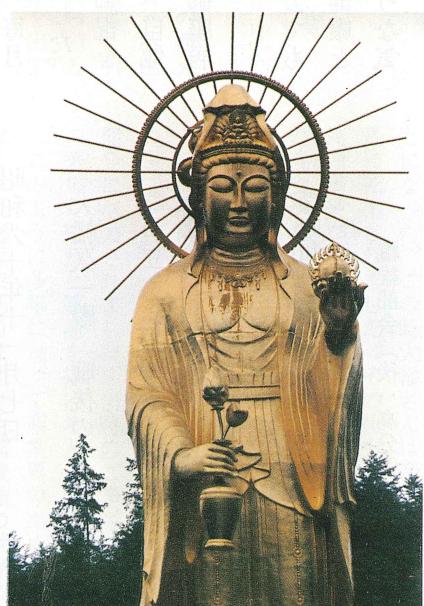
昭和六十一年一月四日逝去



開会の辞を述べる大幡幹事長
(有馬中之坊全国大会で)



S.59. 11. 27. 四国支部例会で
(高知美門旅館)



榎原温泉口駅前、大觀音寺にある
世界一高い(33m)純金の大觀音
(59. 10. 斎藤庸吉氏撮影)

弔辭

辰巳会会長 鈴木治雄

謹んで大幡久一様の御靈前に弔辞を捧げます。

貴台は去る十一月四日、九十三才の天寿を全うされました。大正七年鈴木商店に入店され、そのご帝國人造絹絲、戦時中は人絹統制会、戦後はGHQ顧問等の要職を歴任され、昭和四十五年帰神されました。

直ちに辰巳会幹事に御就任頂き、昭和五十三年七月、

逝去されました小野三郎氏の御懇請により、幹事長を引継がれ、以後所謂氣骨ある明治人として誠心誠意、辰巳会をリードされました。会員一同の親睦のため、奉仕をよろこびとして九十三才の高齢をものとモされず、毎月の幹事会、又大会、例会に御出席され御盡力頂きました。

昭和五十五年に米寿、昭和五十七年には卒寿の御祝を致し、次は九十九才の白寿の祝賀が出来るものと、自他共に認められて参りました。本当に残念の極みで御座ります。

昨春はゴルフのお供も致しました。関西ゴルフ会でも最年長者として、乾盃の音頭をとられました由、健康と寿命とは別と申しますが、貴台の場合正にそのような気

が致します。
このたび幽明境を異に致しましたが、在天の諸先輩の方々も沢山いらっしゃいます。何卒心を安んじお眠り下さい、皆様で今後の辰巳会の円満な運営維持が出来ます

よう、御加護下さん事を、会員一同に代りお願ひ申し上げます。

茲に貴台の御生前の御功勞に対し、衷心より感謝申し上げ、深甚なる哀悼の意を捧げ、お別れの辞といたします。

昭和六十一年十一月七日

大幡久一 殿 戰後の主な略歴

◎昭和二十一年～二十七年
連合軍総司令部、経済科学局顧問

◎昭和二十三年～四十年

日本化学繊維検査協会理事長

◎昭和二十三年～四十三年
経済安定本部（後・科学技術庁）資源調査会委員

繊維部会（後・高分子資源部会）部会長

大幡久一 先輩を偲んで

五十嵐 集

十年近くも経ちましょか、広野でのゴルフの帰途同乗の車の中で、大幡さんが次のように語られたことがあつた。

「リタイヤ後の立場で考へてるのは、分相応に社会公共への還元奉仕を心掛けるべきだということだ。それで例えば如水会・辰巳会などの各種会合についても、役員をやれと求められたら心よく受け、できるだけのお世話を心掛けたいと考えており、これらいろいろの会合は、結構数も多いし遠い場合もあるが、努めて顔を出すことにしている。」

さりげないお詫振りでしたが、深く玩味し私淑すべき内容で、強く心に残るところでした。

昨年秋から鷺田さんの後を受けて、私は辰巳会の幹事会に連なることになつたが、ここで大幡さんが右のお言葉そのままに、辰巳会について本当によく努力されている状況を拝見して、その篤実さに感銘を新たにしたことでした。

大正の末期帝人の草創時代に、鈴木商店から幾人かの方々が、各部署の統率者として帝人入りされています。大幡さんもその一人で、帝人入社後工場長など枢要ポストを歴任して、取締役に累進されましたが。新進気鋭の重役として事業の積極的展開・經營の近代化を推進して、帝人の興隆に大きく貢献されました。その優れた事歴は帝人社史の記述に明らかなところです。

時代が遷り、我国を繞る國際情勢が悪化して、東亜の戰雲次第に濃くなるにつれて、日本の産業界は政府の強力な統制下に置かれ、資金・設備・生産等悉く厳しい規制を受けるに至つた。化織業界はこのような時勢の動向に対処し、昭和十七年秋政府の意図する統制と調整の任に當る機関として、絹・化織統制会をスタートさせるこ

とになった。この時大幡さんは帝人から推されて同統制会化織部会長に転出されました。その後引続き化織協会役員・化織検査協会初代理事長など、業界団体機関の責任者の重責を担つて、帝人に復帰の機会がありませんでした。その間にG・H・Q科学局顧問・経済企画庁の資源調査会委員などの公職をも兼ね、長期に亘り中央舞台に在つて活躍し、我国化織産業の発展に大きく貢献されました。

特に占領治下日本化織業界の一大危機に際し、G・H・Qと業界との間に立つて、業界の守護に心を碎き、我国化・合織産業の復興と開発に尽力されました。当時のご辛労ご努力に対しても業界関係者の著しく敬意と感謝を捧げるところであります。

このように多年に亘つて産業界のために専心献身されたご功績は尊くまた顯著であります。生前叙勲の榮誉に輝き、勲三等瑞宝章を授けられた所以であります。

大幡さんは帝人の後輩が敬仰する徳望の最長老であり、清廉高潔の先達でした。体軀堂々見るからに剛健の偉丈夫であり、誠実直情また骨太な信念の明治人でした。同時に所謂大正デモクラシー時代に青春を過ごして、自ら近世民主主義の真髓を把握する近代人でした。性來学究的で内外の情勢に通曉し、該博な智識と高邁な識見により、明解な判断と適切な指針を以つて部下を統率し、後進を指導されました。われわれはこの畏敬する先達の長逝に遭つて、據所とする座標軸を失つた懷いであり、哀惜の至りです。

先年帝友会は総会の場で、大幡さんの卒寿をお祝い申し上げました。この席上の矍鑠として激刺たるお姿から、帝友会初の白寿の慶事を迎えられるのはこの先輩であろうと、一同ご期待申し上げた

ことでしたが、この待望が叶えられなかつたことは遺憾の極みです。同学の後輩ということで終始ご温情を頂いて参つた私には、寂寥限りないものがあります。そのゆかりの数々を回想しながら、心から感謝をこめてこの追悼の拙文を捧げる次第であります。

大幡久一氏を憶う

元帝人常務 西村 鎌次郎

戦後占領軍(GHQ)が纖維行政を司る時、大幡氏は請われてGHQの顧問として化学・纖維行政を担当された。少しでも曲った事は絶対に許さない厳しい性格を最もよくあらわされ、当局の信頼を得て居られた。帝人に就いては少しは大目に見て頂けるかという甘えは適用せず、却って厳しく対応されたように見えた。我々は蔭でGHQのOHQと称していた。

帝人の先輩の最高齢者であり、我々長寿を望む者の大きな目標であつた大幡久一氏が昨年十一月九十三歳で遂に他界された。先に九十一歳の菊池秋夫氏を送り、今又大幡氏に先立たれ、後輩として誠に淋しいものがある。

昭和四年四月二日私達七名の新入社員が帝人岩国工場へ赴任した時、最初にお目にかかるのが副主事(副工場長)の大幡氏であった。そのジロツと睨まれる鋭い眼光は今も記憶に残つて居り厳しい方だと思った。

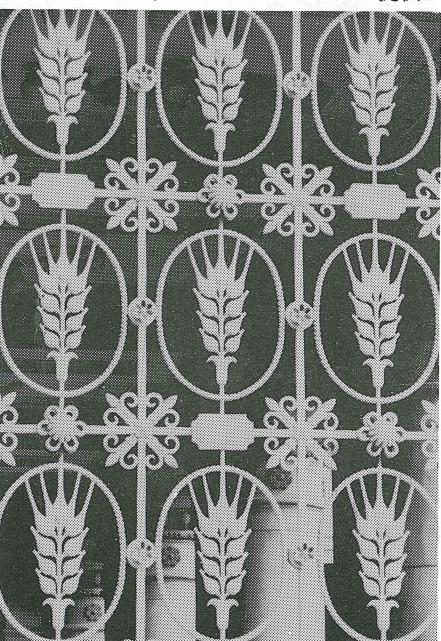
当時主事であつた吉岡豊氏が病氣療養中だったので米沢工場長だった大幡氏が岩国工場に転じ副主事として代理をつとめて居られた。

翌年吉岡氏の復帰と共に大幡氏はロンドン駐在員として小野三郎氏に代つて赴任された。

昭和九年二月帝人事件が起つた時には本社建設課長として、三原在勤の大屋晋三氏と共に三原工場の建設にたずさわって居られた。昭和九年四月五日帝人事件の為、高木社長等四重役が司直の取調べを受けて居られた時、大幡氏は大屋氏等と共に社員会を催され、此の非常時を乗り切る為、久村清太氏に社長に就任して頂くよう要請され之が実現した。此の時大幡氏は大屋晋三、大橋亘二氏と共に新しく設立された第一帝人株式会社の取締役に就任され、会社の三原工場長として赴任された。

私は本社にあつて生産調整を担当していたので、度々三原へ呼出されお叱りを受けたり御指導を頂いたりした。

△上海展覧館の門扉
中国がソ連と交流の深かった時代に出来たソ連風の豪華な建物で、門扉の小麦の穂もソ連的発想である。
<センター提供>



私は東京に住んでいるので帝人の会では時折お目にかかる程度で、又後には相談役として昭和四十五年まで東京に勤務されたが其後は神戸へ帰られた。関西では帝人旧役員の会合に毎月出席して居られたが他に辰巳会についても小野三郎氏を援けてお世話をされ、後には小野氏に代つて役員をつとめられて居た。

大幡氏はGHQをやめられてから化学・纖維検査協会の理事長として、又後には帝人常務として昭和四十五年まで東京に勤務されたが其後は神戸へ帰られた。

私は東京に住んでいるので帝人の会では時折お目にかかる程度で、辰巳会の全国大会では殆んど毎回お目にかかる程度で、昨年も五月に有馬でお目にかかるのであつたが、之が最後になってしまった。

年に不足はないかも知れないが、まだまだ活動されると思つていただけに、誠に残念に思う。五十余年に亘る御指導、御交誼に感謝し謹んで御冥福を祈るものである。



営業品目

モリブデン・タングステン・接点・超硬合金
浸硼加工・モリブデンタングステンメッキ

東邦金属株式会社

取締役会長 中村秀臣
取締役社長 岩井靖裕

本社 〒541 大阪市東区北浜3丁目3番地和光証券ビル
電話 大阪(06) 202-3376
東京支店 〒100 東京都千代田区丸ノ内1丁目2番1号東京海上ビル
電話 東京(03) 281-2894
工場 北九州市・対馬市・福岡市

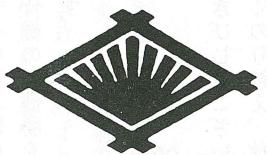
営業品目

重ね板ばね・コイルばね・トーションバー
スタビライザー・特殊ばね・線ばね・薄板ばね・シートおよびシートばね・パイプハンガ・パイプクランプ

日本発条 株式会社

相談役名誉会長 坂藤壽俊
相談役名誉会長 本岡清雄
取締役会長 池谷政雄
取締役社長 清水光男

本社 横浜市磯子区新磯子町1番地
支店 東京・太田・浜松・名古屋・大阪・広島
工場 横浜・川崎・滋賀・太田・豊田・広島・厚木・伊那



製品目

蒸溜脂肪酸・単体脂肪酸・各種脂肪酸エステル
脂肪酸クロライド・ハロゲン化アルキル・ポリエチレン用滑剤
高級代用品基剤・樟脑誘導体・精製樟脑

日本精化株式会社

取締役社長 宮永悠紀雄

大阪市東区備後町2丁目45番地
541 電話(06)231-4781(代表)